

## 神戸市外国語大学における「性的指向・性自認（SOGI）」に関する基本理念と対応ガイドライン

### はじめに

国際社会は様々な背景を持つ多様な人々から成り立っています。国際社会を理解し国際的視野を持って活躍するためには、国際社会を構成する多様な人々を理解し尊重する姿勢を養うことが必要です。そうした姿勢は、本学が掲げる「行動する国際人」の基本的な要素でもあります。

この観点から、本学ではディプロマ・ポリシーにおいて、世界の多様性を観る力、すなわち、国際的な視点から多様な文化や社会を理解する力を身に付けることを、学位授与の重要な方針としています。大学としても、多様性を理解し、様々な個性を持つ学生及び教職員すべてが尊重される大学をめざす使命があります。

このたび、神戸市外国語大学における「性的指向・性自認（SOGI）」に関する基本理念と対応ガイドラインを策定しました。本ガイドラインには、「性的指向や性自認（SOGI）」について、本学の姿勢と現段階での具体的対応を示しています。

この基本理念に基づき、SOGI に関して、学生及び教職員の皆さん一人ひとりの多様な意思や選択が尊重され、自分らしさが発揮できる教育・研究・就労環境の整備に取り組むとともに、SOGI の多様性に関する理解を促進するための啓発活動を積極的に実施してまいります。

2022 年 4 月 神戸市外国語大学学長

田中 悟

## 神戸市外国語大学における多様な性的指向および性自認（SOGI）に関する基本理念と方針

### I 基本理念

神戸市外国語大学は、SOGI に関する基本理念を実現するために、次の 5 つの方針を定めます。

1. SOGI に関して、本人の意思・選択を尊重します。
2. SOGI に関する差別や偏見を禁止します。
3. SOGI の多様性に関する学生・教職員の理解を促進します。
4. SOGI に関する個人情報の保護を徹底します。
5. SOGI に関連した修学・就労上の合理的配慮を図ります。

## II 相談窓口等

| 名称                           | 相談内容            | 連絡先                                                                                                                                    |
|------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学生相談室<br>(本部棟 1 階)           | SOGI に関する悩み相談   | 受付時間： 月・木 12:00～19:00<br>水・金 12:00～18:00<br>(長期休業期間中は、毎週水曜 11 時～17 時)<br>TEL： 078-794-8135<br>E-mai： counseling@office.kobe-cufs.ac.jp |
| 保健室<br>(本部棟 1 階北側<br>玄関ホール奥) |                 | 受付時間： 月～金 8:30～21:00<br>(長期休業期間中は、月曜～金曜：8 時 30 分～17 時)<br>TEL： 078-794-8136<br>E-mai： healthcare@office.kobe-cufs.ac.jp                |
| ハラスメント相談窓口                   | SOGI に関するハラスメント | 各相談員の受付時間、電話番号を HP にてご確認ください。                                                                                                          |

### 1. SOGI に関する相談について

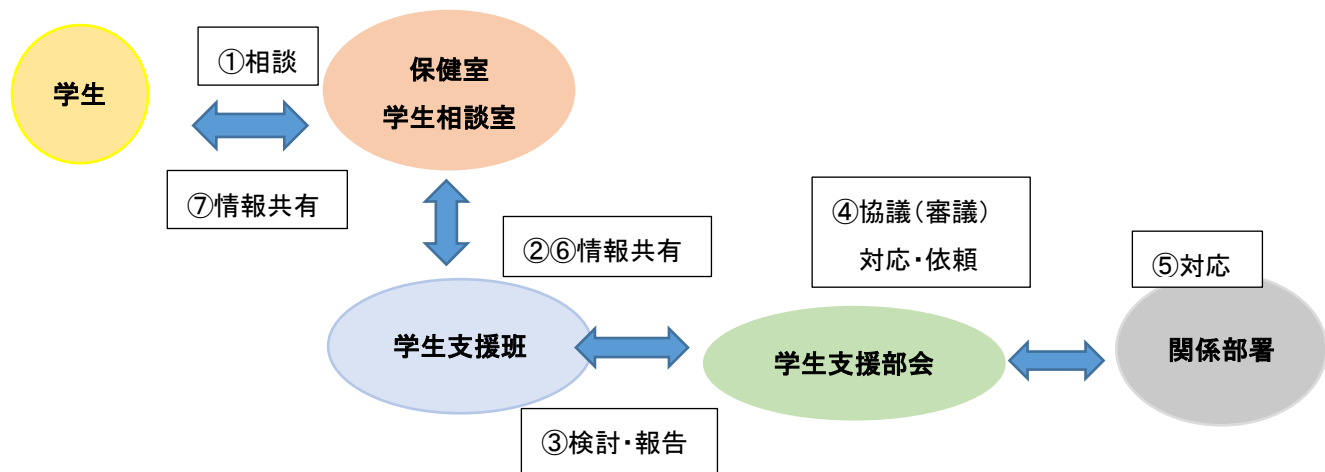
本学における SOGI に関する相談は、守秘義務を負った学生相談室・保健室が当事者の悩みや要望を受け止める最初の窓口とします。

また、要望等については、当事者の了解を得た上で、学生支援班へ報告を行い、学生支援部会で対応を検討・協議します。

さらに、学生支援部会は、必要に応じて関係部署や個々の教員・担当者と情報共有を行い、連携して対応を行います。

### 2. 相談の流れ（対応が必要な場合）

- ① 学生から相談を受けた学生相談室・保健室は、学生の要望を聞き取ります。
- ② 学生相談室・保健室は、学生からの要望を聞き取った後、大学としての対応が必要になると判断した場合は、当事者の了解を得て、学生支援班に報告します。
- ③ 学生支援班は、対応(案)を検討し、学生支援部会に報告します。
- ④ 学生支援部会は、問題解決に向けた対応について協議を行い、必要に応じて関係部署に対応を依頼します。
- ⑤ 関係部署は、問題解決に向けた対応を行います。
- ⑥ 学生支援班は、対応結果を学生相談室・保健室に報告します。
- ⑦ 学生相談室・保健室は、対応結果を学生に報告します。



### Ⅲ 本学の姿勢と現段階での具体的対応

SOGI に関して、本学の姿勢と現段階での具体的対応を項目ごとに記載します。

#### 1. 啓発・研修について

SOGI を尊重する大学をめざし、理解を促進し、ハラスメントを未然に防止するため、次のような啓発・研修を実施しています。

■教職員対象の研修

■窓口職員に対する研修

#### 2. アウティングの禁止 6 ページ参照

当事者の意思によるカミングアウトに対して、当事者の意思によらない性的指向や性自認に関わる情報の暴露をアウティングと言います。アウティングは本人の尊厳を深く傷つけます。「良かれと思って伝えてあげた」というように、たとえ相手を傷つけるつもりがなくても、アウティングは絶対に許されません。

#### 3. 氏名・性別情報について

##### (1) 性別情報

性別情報については、当事者の意図しない形で公表されることのないよう、慎重に取扱いします。

##### (2) 大学が発行する証明書の性別記載、氏名の取扱い

以下の証明書の性別記載はありません。

在学証明書、卒業・修了（見込み）証明書、健康診断書、通学証明書、成績証明書 等

本学が発行する証明書については、学籍簿上に登録されている氏名で発行されます。

##### (3) 通称名等の使用について

本学における学生の氏名は、学籍簿上の表記に基づいて取扱い、学籍簿上の表記は戸籍上の氏名を原則としています。ただし、学籍簿上の表記に関して自認する性に基づく通称名の使用を希望する場合は、学生支援班にご相談ください。

#### 4. 授業について

■性的指向・性自認等にかかわらず、すべての学生が学びやすい授業を目指して、次のような授業づくりに努めます。

- ①授業中の学生に対する呼称等（Ms、Mr、くん、さん等）については、性別にかかわらず使用できる呼称（神戸さん Koube-san 等）の使用を進めます。
- ②性別でのグループ分けの必要性について、確認します。
- ③授業等で使用するワークシートやアンケートに性別欄を設ける際には、配布時にその目的説明し、性別欄の記入を自由に選択できるようにします。

#### 5. 健康診断について

健康診断の受け方について希望がある場合は、個別の対応を行います。

#### 6. 設備面（トイレサインの見直し）

学内には、障がいの有無や、性別に関わらず、どなたでも利用できるトイレが10カ所あります。トイレの場所は、文末をご参照ください。より利用しやすいトイレに向けて、順次改修を進めます。

#### 7. おわりに

ここに掲載した情報は2022年3月現在の状況です。安心して学生生活を送るためには、まだまだ情報が足りないこと、今回の掲載に至らなかった事項についても、引き続き調査をし、より一層のガイドライン内容の充実を目指していきます。

(参 考)

## 1. 性的指向 (Sexual Orientation : セクシャル オリエンテーション)

性的指向とは、人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念を言います。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛（ヘテロセクシャル）、同性に向かう同性愛（ホモセクシャル）、男女両方に向かう両性愛（バイセクシャル）を指します。同性愛者、両性愛者の人々は、少数派であるがために、場合によっては職場を追われることさえあります。このような性的指向を理由とする差別的取扱いについては、現在では、不当なことであるという認識が広がっていますが、いまだ偏見や差別が起きているのが現状です。

出典：▷法務省HP

## 2. 性自認 (Gender Identity : ジェンダー アイデンティティ)

自分の性をどのように認識しているのか、どのようなアイデンティティ（自己同一性）を自分の感覚として持っているのかを示す概念です。性自認は性的指向とは別のものです。

・トランスジェンダー (Transgender) : 大学等での対応が必要になるという点においては、例えば、身体的な性が男性であっても性自認が女性というように、身体的な性と性自認が一致しない人を指します。その解消のために医学的対応を含めたどのような対応を望むか、また身体的な性と異なる衣服等の表現をするかどうかは、当事者により異なります。恋愛対象は異性の場合も同性の場合もあり、両方の場合、いずれでもない場合があります。

出典：▷日本学生支援機構（大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて）

## 3. LGBT

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとり、性的指向や性自認などに関して、少数者と位置づけられている人々を総称する語として使用されています。

「性的マイノリティ」は、この4つのカテゴリーに限定されるものではなく、LGBT の他にも、身体的性、性的指向、性自認等の様々な次元の要素を組み合わせによって、多様な性的指向・性自認を持つ人々が存在しています。

例えば、クエスチョニング (Questioning : 性的指向や性自認が揺れ動いたり、いずれかに決められない、決めたくない、わからない等の感覚の人)、Xジェンダー（特に性自認において、特定の枠組みに当てはまらない、揺れ動く等の感覚の人）と表現される人々もいます。セクシュアリティの多様性を示すために、LGBTQ や LGBTs と表記することもあります。

出典：▷日本学生支援機構（大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて）

## 4. SOGI (性的指向・性自認)

SOGI（ソジあるいはソギ）は、性を構成する要素の「性的指向」と「性自認」のことです。すなわち、全ての人の性に関わることです。

出典：▷兵庫県、令和3年3月（人権文化あふれる温かい共生社会をめざして～多様な性への理解を深めるための職員ガイドライン～）

## 5. 性別違和

性自認と身体的な性の間に違和感を感じる人がいます。その中には、性自認に従って身体的な性を変更したり、変更を望む人もおり、医学的な診断名を「性別違和（または性同一性障害）」と言います。

出典：▷日本学生支援機構（大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて）

## 6. カミングアウト (Coming Out)

カミングアウトとは、これまで公にしていなかった自らのSOGIを、個人の自由な意思により表明する行動を言います。注意すべき点としては、表明されたSOGIは個人情報であることを留意し、カミングアウトの対象範囲を確認するとともに、本人の意思を尊重し、むやみに第三者に言いふらさないことです。「言いふらし(アウティング)」は、信頼して打ち明けられたことに対する重大な裏切り行為です。学生・教職員の一人ひとりがSOGIの理解者・支援者となることが期待されます。

## 7. アウティング

当事者の意思によるカミングアウトに対して、当事者の意思によらない性的指向や性自認に関わる情報の暴露をアウティングと言います。「性的マイノリティ」にとって、アウティングは、当事者の生命に関わる事態に直結することにもなりかねません。性的指向や性自認に関わる情報は、当事者の意思に沿う形で慎重に扱うよう努めることがアウティング予防のためにも重要であり、悪意・故意によるアウティングに対して時に厳正な態度で臨むことも必要です。また、性別情報が記載されている名簿を配布・掲示した結果、偶発的なアウティングが起こった事例もあります。

出典：▷日本学生支援機構（大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて）

## 8. ALLY（アライ）理解者・支援者

多様な性自認、性的指向に理解のある非当事者であり、理解者、応援する人、支援者のことです。

出典：▷兵庫県、令和3年3月（人権文化あふれる温かい共生社会をめざして～多様な性への理解を深めるための職員ガイドライン～）